

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公開番号】特開2010-280617(P2010-280617A)

【公開日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2009-135511(P2009-135511)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/31 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/46 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/31

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/46

A 6 1 Q 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月9日(2012.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次の成分 (A)、(B)、(C) 及び (D)：

(A) リモネン、1, 8-シネオール及びリナロールから選択されるモノテルペン類、

(B) アニオン性界面活性剤、

(C) 融点が 50℃以上、室温 (25℃) で固体であり、有機性値が 560～1500、無機性値が 0～470 であって、当該有機性値及び無機性値が下記式 (1) を満たす油剤、

$$(有機性値) \times 0.5 - 550 \leq (無機性値) \leq (有機性値) \times 0.5 - 280 \dots$$
(1)

(D) 水

を含有する容器入り歯磨剤。

【請求項 2】

容器の少なくとも最内層がポリオレフィン系樹脂である請求項 1 記載の容器入り歯磨剤。

【請求項 3】

成分 (A) と成分 (C) の質量比 (A/C) が、1～20 である請求項 1 又は 2 記載の容器入り歯磨剤。

【請求項 4】

成分 (A) と成分 (C) が、平均粒径 5～300 μm のハイドロゲル粒子中に含まれるものである請求項 1～3 のいずれか 1 項記載の容器入り歯磨剤。

【請求項 5】

ハイドロゲル粒子が、非架橋型ハイドロゲルのゲル化剤を溶解させた水性成分水溶液に

成分（A）と成分（C）を乳化又は分散させて得られるハイドロゲル粒子である請求項4記載の容器入り歯磨剤。

【請求項 6】

ゲル化剤が寒天である請求項5記載の容器入り歯磨剤。